

第8回 ボランティア研修交流会

水中展望船ジューラに乗る

54名の参加

通院介護センター「さわやか」第8回ボランティア研修交流会は、4月18日に雨の中開催されました。

8時に小倉RMMビルに、8時30分八幡駅前集合で、都市高速、九州自動車道を経由して、第一目的地、佐賀太平酒造へ行きました。

車内で、北九州市の人権週間特別番組「自立と支援のはざままで……」透析患者はいまのVTRを見ました。

太平酒造では、昔の酒蔵をそのままに残した酒造りの道具を目撃しました。同所には酒の直売ときき酒があり、早々にきき酒をして、いい気分になった人がいたようです。

11時40分に呼子に到着、昼食はイカ定食を食べながら、歓談をしました。自己紹介のなかでは、送迎の苦心談など有意義な発言がされました。

目的の水中展望船「ジューラ」に乗船する時には、雨も止み、海水も沖では透き通ってタイヤベラ、イワシなど種々

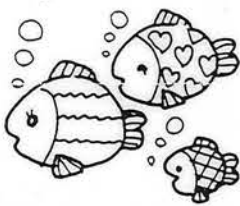
の魚を見ることが出来ました。この水中展望船が目標であっただけに、各種魚が見られたことは、行った甲斐がありました。

は呼子を後にして、一路小倉へと向かいました。車は無事19時に小倉駅に着し、楽しい一時の幕を閉じました。

イカしたツアー 親娘で堪能!



下畑和幸



さて、せっかくだから呼子イカツターの旅行記私家版を書きましょう。

18日AM6時起床。同行の長女を起す。「これ娘、イカが呼んでいる起きんかい」バタバタして6時30分の列車にて小倉へ。8時のバスに乗り込んだ。バスは八幡駅前での参加者を加えて一路第一目的地の佐賀太平酒造へ。車中では江頭会長が「大変良いお天気になって」と愚痴めいた

11時40分呼子到着。イカを目の前にして3分間のご立派な挨拶があってイカを食べるコリツとした弾力と甘味があってとてもうまい。皿に置かれたイカ君が時々手をあげてうまいかい!とうるんだ目つきで聞いてくる。「うん、うまいよ。だから迷わず成仏してね」とイカカニバリズムの私はいう。娘は大食い。刺し身のイカを一切れずつでなく右手に持ったハシをえぐり込むようにしてガバツとすくって食べる。確実に大イカ一匹は食っている。当方にあっ

北九州市賢友会

ホームヘルプ事業認可予定

「さわやか」と両輪に

通院介護センター「さわやか」が設立されて、早や二年を迎えようとしています。

この間、ボランティアの皆様のご援助・ご支援により、事業は順調過ぎるほど順調に推移してきました。

この「さわやか」の成果の上にたって、北九州市賢友会では、ホームヘルプ事業「いきいき北九州」を発足させるよう準備を進めています。

通院の介護だけでは、家事や炊事が困難な患者さんは、やはり社会的入院（介護する人や家事・炊事をする人がいないため、入院を余儀なくされた人）をせざるをえません。今回始めるホームヘルプ事業は、このような家庭での介

できた。という楽しい一日でした。娘はイカ食ってバスに乗る時、食べすぎてはきそうと言ってたくせに、PM8時に家に着くと腹へったと、お土産のイカシューマイとごはん、それに

ケトキを食べていた。私は何もいらんと胃薬を飲んでいました。で、イカうまかった。今度は皆で行こうと話しております。どうもありがとうございました。

助がいる患者さんの支援をしようというものです。

この事業も北九州市からの委託を受けて、北九州市賢友会、福岡難病連北九州市支部が共同で行います。

「さわやか」で通院の支援をして、家事・炊事の支援を「いきいき北九州」がすることになります。この二つの車が順調に回転すれば、難病患者と透析患者に大きな福音をもたらすでしょう。

ボランティアさんのまわりには家事・炊事などの支援が必要な方がおられましたら、是非「さわやか」まで、「二報下さいませ。